

(第1回) 2018年度 関西のゆめプロジェクト

琵琶湖に橋をかけ、北湖の地域活性化について

鹿島建設株式会社 関西支店 小森 万理子

【わたしの夢】いつか琵琶湖に大きな橋をかけたい！

橋がつながることによって、

- ・今まで出会えることができなかった人と出会えること
 - ・助けることができなかった人を助けることができること
- 社会貢献できる人になりたいという思い。



【提案内容】北湖に大橋をかけて、びわ湖こどもの国より暮らしやすい街に！

滋賀の魅力：「琵琶湖」

ベットタウンとして栄えていっている南湖。

京都（電車30分）大阪（電車60分）

すぐに観光地へ行けて静かな街。

北湖は湖がキレイ！

【+α提案】琵琶湖大橋ではメロディー大橋と呼ぶ。60km/hで走ると曲が聞こえる。32分間あるので、2分の曲であれば16曲聞くことができる。

AI・IoTを活用した都市型ラウンドアバウトによる近未来交差点について

株式会社竹中土木 技術・設計部 前田壮亮 栗野延寿

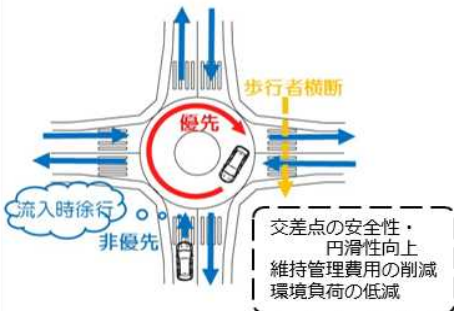
■近年の傾向

- ・都市部に人口が集中する傾向
- ・交通事故は都市部に多く発生
- ・交差点内の事故割合が大きい
- ・交差点付近の慢性的な交通渋滞の発生

■交差点の課題

- ・信号無視による出会い頭事故
- ・信号待ちによる無駄な待ち時間、渋滞発生
- ・少子高齢化に伴うインフラ技術者不足

安全・快適でかつ維持管理が容易な交差点
ラウンドアバウト交差点の導入



■地方部

- ・交通量の少ない地方部では有効
- ・歩行者との接点があり事故の危険性

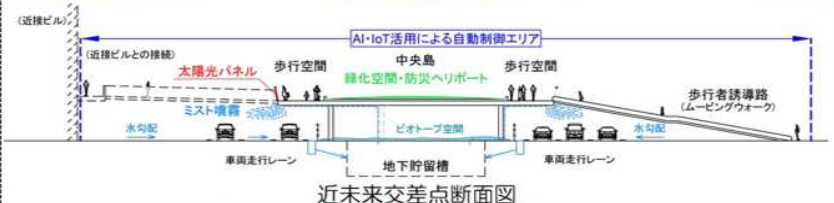
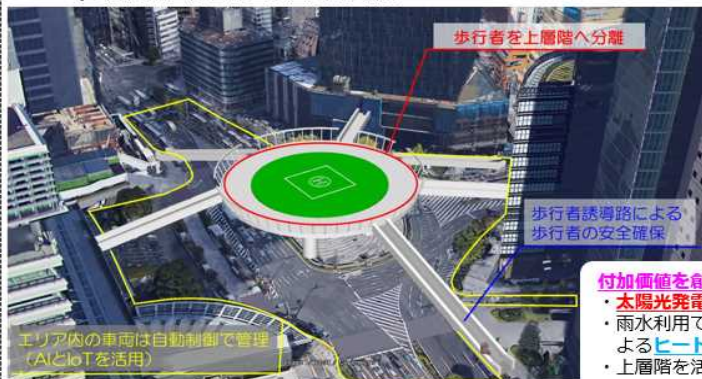
■都市部における課題

- ①交通量が多い地域では交通渋滞が発生
- ②歩行者の横断による事故の危険性

■課題解決の提案

- ①自動制御（個人の運転能力によらない）によるスムーズな交差点処理
- ②歩行者と車両の分離（地下・地上・上層階の3層構造）

- ・自動運転技術（車載AI）の発展と活用
- 自動運転システムに不可欠なデータの収集
- 交差点内に入る車両の車載AI情報を交差点IoTにて収集（車両台数・行き先・進入出時間等）



最適空間を創造し、魅力ある「まち」を創出